

事務事業名		メガソーラ用地等不動産鑑定評価業務委託事務				<input type="checkbox"/> 事後(中間)評価対象事業			
総合計画	政策名	0:5: 効率的な行財政運営によるまちづくり				所属課	税務課	担当	資産税担当
	施策名	0:3: 健全な財政運営の推進				課長名	柿沼 善和	担当者名	藤井 正典
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業コード名	関係法令・条例等	地方税法・固定資産税評価基準
		1	0:2	0:2	0:1	0:0:4	固定資産税費		
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 平成30 年度)				<input type="checkbox"/> 期間限定 (平成 年度～ 平成 年度)			
事務事業の概要 (事務事業の内容を記載)		<p>1 事務事業概要 平成30年から売電が開始される2箇所のメガソーラ用地に対し、土地鑑定評価を入れ評価する。 また、今後新たに発生する大規模メガソーラ用地について不動産鑑定評価を入れる。</p> <p>2 概算事業費 業務委託一式 498,960円(2箇所) 通常1箇所約350,000円</p>							

(1) 事務事業の目的と指標		(4) 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
① 活動の計画(活動の量・大きさ・規模等)	50,000㎡以上の(若しくは特別な事情のある)メガソーラ用地等	名称	単位
② 対象(事業は誰・何を対象にしているのかを記載)	土地所有者	ア メガソーラ用地	箇所
③ 目標(この事業によって、対象をどうしたいのか記載)	適正な固定資産を税徴収する	イ	
		(5) 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位
		ア 土地所有者	人(業者)
		イ	
		(6) 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位
		ア 良かったと答えた所有者の割合	%
		イ	

(2) 指標・総事業費の推移		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成32年度 総合計画 最終年度
活動指標	ア	目標値 箇所			2	1	1	1
		実績値 箇所						0
イ	ア	目標値 0						0
		実績値 0						0
対象指標	ア	目標値 人(業者)			2	1	1	1
		実績値 人(業者)						0
イ	ア	目標値 0						0
		実績値 0						0
成果指標	ア	目標値 %			100	100	100	100
		実績値 %						0
イ	ア	目標値 0						0
		実績値 0						0

計画		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成32年度	
投入量	事業費	国庫支出金 千円					0	
	財源内訳	県支出金 千円					0	
		地方債 千円					0	
		その他 千円					0	
		一般財源 千円			500	350	350	350
		事業費計 (A) 千円	0	0	500	350	350	350

実績		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成32年度
投入量	事業費	国庫支出金 千円					
	財源内訳	県支出金 千円					
		地方債 千円					
		その他 千円					
		一般財源 千円			0	0	0
		事業費計 (A) 千円	0	0	0	0	0

評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果
目的妥当性評価 ① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を投入して、達成するものですか？	個人でするものではなく、税を徴収する側で行う事業である。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
有効性評価 ② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しなければならないのか？先延ばしにできない理由は何か？	売電が開始されると地目を変える必要があるため、2箇所については平成30年度に実施しなければならない。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
効率性評価 ③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか？将来のコスト増要因に対して対策が考えられているか？	今回の場合2箇所同時に行うことにより、高い割引率が得られる。また今後は見積もり合わせにより業者を決定する。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
公平性評価 ④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公平性が考慮されているか？	受益者(納税者)から負担させるものでない。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり

3 事前評価結果

事前評価日： 平成 29 年 8 月 1 日

(1) 事前評価者として判断した今後の事業の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 1次案のまま採択 <input type="checkbox"/> 下記条件で採択 <input type="checkbox"/> 不採択 <input type="checkbox"/> 差し戻し	
(2) 採択条件	(3) 指示事項(事務事業に関する指示、事後(中間)評価日程等)

4 成果検証

事後(中間)評価日： 平成 年 月 日

事務事業実施後の概要 (実施しての効果、受益者等の反応、問題点、課題等を記載)	
--------------------------------------------	--

(1) 評価結果(今後の方向性) <input type="checkbox"/> 優(成果大) <input type="checkbox"/> 良(良好) <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可(成果なし・中止・計画変更必要)	
(2) 総評	(3) 指示事項
	<input type="checkbox"/> 再評価対象事業